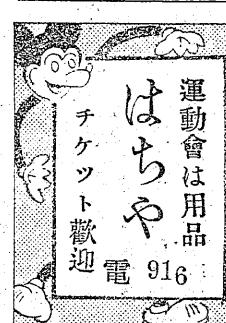


選舉條例之論議集注 加

磐城市九月定例會二七日

卷之二

發行所
磐城日日新聞社
福島縣磐城市渚廻51
電話387番
編集兼
發行比佐不二夫



出品される予定で中には八尺の大物も数点有り、画家の期待を集めている。

市内の音楽愛好家總會を開成を急がれていた磐城トをグループ化し、これ鑑賞部に統合して一大發

音樂交好會癸巳

二五日に結成總會を開催

ボーッの秋	経費をかけずに良い品安く
ロ庭球帽ミルキ	
ボストン手提鞄	
男女トレスポン	
クナイロン靴下	
紳士バンド各種	
ンプス半バス	
新入荷	
1封度	1200圓
1封度	1600圓
メスマ ウテナ	80圓
入丈夫な夜具地	

旅行とス
野球帽メト
旅行セツト
運動シャツ
ハンドバツ
婦人バンド
サンダルパ
毛糸
群羊毛糸
カネボー
化粧品柳屋
ジュジュ。
フトンの手

豆腐油揚は八〇七番へ
製造販賣所

磐城市松ノ中(水素販) 電話八〇七番

庄兵衛商店

最高品、コンロ、石油
コショウ部分品等は電話八八〇番へ

電 話 八八〇 網 番
營業場市
山市平
19日
23日

市平催
競
場外車
福島市。
若松市。
18日
22日

主平
9月17日
21日

卷之三

社會の眞實は何處に新聞人の良識が果して良識かは今更報導の重要性を論ずるに對して新聞の概念を信用は意志はないが、活字化されし、眞實とする處にニュースに対する信頼はスの偉大なる力があり、またニユースに對する信頼は非常に根強いものとなつてたその誤りたる時の恐ろしさ一般國民の意識の中に潜在化されている事に注目しなければならない。

新聞人の眞實に対する概念は、吉田内閣に踊られた試行爲と極付けている。單に反動吉田内閣に踊られた試行爲と極付けている。單に新聞人その事一事をもつて何がされば一般讀者（それは國民に通ずる）はその事實は是、何れが否と決める事は

然はこゝに集注され、小選挙區制か、大選挙區制か定められている。

第一はいやるか早期解散するか白熱の論議が各自のデリケートな利害を反映させている。

調査書は各農事組合毎に自作、小作、賃作の段別を九月三〇日まで、市農政課または玉川支所まで提出する様要望されている。

岩上画伯個展は、名浜公民館ホールで開かれ、年ぶりで來市する事になつており、地元では歓迎会を行つた。

岩上画伯個展は、名浜港務所、江名修築事務所は二十日、各々会計監査を行う。

前城磐城市事務所長として地方民に親しまれた若月可正委員、顧問兼任、具体的運動方針などについて協議が実行された。

日展入選数回の日本画壇に異彩を放つ岩上青稜画伯の個展が美術の秋にさきがけで二十から三日間磐城市小直氏も会計監査員として半日來賓し磐城市内の縣機関、小名濱高校、水産高校は十九日、水産試験場、小名浜公民館ホールで開かれ、年ぶりで來市する事になつており、地元では歓迎会を行つた。

洋品奉

<p>鑑賞三部分に別れて夫々のによつて市文化協会結成もうとするもので今後の活躍する。</p> <p>が期待され、更に現在小名濱公民館で毎月一回行われる。</p>
<h1>立花人事第二號</h1>
<h2>主任 十二名</h2>
<p>十七日話題の立花人事第三とされていたとの人事問題 號が發令され、主任級十二も終止符を打つたものと思 名に異同辭令が渡された。はれる。</p>
<p>異同人名次の通り</p>
<p>△戸籍課 戸籍主任 河野久治</p>
<p>住民登録課 住民登録主任 本郷士郎</p>
<p>△水産商工課 商工課 鈴木進一</p>
<p>△議會事務局</p>
<p>協榮社印刷所 フジヤン 電話 三三〇番 都服装店</p>

旅行とスポーツの秋			
経費をかけずに良い品安く			
野球帽メトロ庭球帽ミルキ			
旅行セットボストン手提鞄			
運動シャツ男女トレズボン			
ハンドバックナイロン靴下			
婦人バンド紳士バンド各種			
サンダルパンプス半バス			
毛糸新入荷			
群羊毛糸	1封度	1200	圓
カネボー	1封度	1600	圓
化粧品柳屋メスマ ジュジュ・ウテナ	80		圓
フトンの手入丈夫な夜具地			

